

(ランプチェンジャー用) 破損ランプキャッチャー / DLC-CH-BC26 取扱説明書

このたびは、デンサン (ランプチェンジャー用) 破損ランプキャッチャー / DLC-CH-BC26 をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みにになり指示に従って正しく使用してください。お読みになった取扱説明書はお使いになる方がいつでも見れる所に保管してください。

この製品について

この製品は、破損した電球を取り外すためのものです。
別売の「ランプチェンジャー・ポール(DLC-AP33、又はDLC-180)」に取付けて使用します。
適合電球は(口金E17、E26のフィラメント電球)です。 ビーム球、電球形蛍光灯、スパイラル型電球には適応しません。
適合電球の取外し以外には使用しないでください。

安全上の注意

⚠ 危険 この表示は「誤った取扱いをすると人が死亡、又は重傷を負う危険性が非常に差し迫って生じる可能性がある」内容を示します

- 感電の恐れがあります。必ずランプの電源を切ってから作業してください。
- 高圧電線が近くにある場所での使用はお止めください。感電や重大な事故の原因になる恐れがあります。



⚠ 警告 この表示は「誤った取扱いをすると人が死亡、又は重傷を負う可能性がある」内容を示します

- 口金を外したあと、ランプの破片や割れた電球が落下しますので、特に注意して作業してください。
- 不意の落下物等で目を怪我する恐れがあります。ランプ交換の作業中はヘルメット、保護メガネ、手袋を着用してください。
- やけどの恐れがあります。ランプの交換は必ず電源を切ってから行ってください。
- 適合電球(口金 E17、E26 のフィラメント電球)以外には使用しないでください。



⚠ 注意 この表示は「誤った取扱いをすると人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性がある」内容を示します

- ご使用前に部品のゆるみがないか、破損箇所はないか等の始業前点検をして安全確認後にご使用ください。
- 不意のランプ(又は破片)の落下に備えて床面の養生を行ってください。
- ポールを回転させた時、ソケットも回転した場合は直ちに作業を止めて、専門業者に依頼してください。
- 清掃時は軽く湿った布巾で拭いてください。絶対にシンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- シンナーなどの溶剤雰囲気中に長期保存しないでください。

使用上の注意

- ランプ交換できない構造の器具もあります。チェーン・コード吊りの器具、ランプが斜めに取り付けられたダウンライトなどは交換できません。
- 気温が-10℃以下の環境では使用しないでください。
- 保管に際しては直射日光のあたる場所や高温の場所を避けてください。

使用するランプチェンジャー・ポールについての注意

- ポールは垂直に立てて使用し、伸ばした状態で横倒しにしないでください
- 継手部分は指先で軽く締めるだけでロックできます。あまり強く締めると戻しトルクが大きくなり緩まなくなります。
- 継手を緩め過ぎるとスライドが開放状態になり急激に落下して指をつめるなど傷害の恐れがあります。継手は少し緩めるだけにし、スライド抵抗のある状態でパイプを押し下げてください。
- 使用場所によってポールが長すぎて余る場合は必要な段数だけを使用してください。

使用制限

使用できない電球

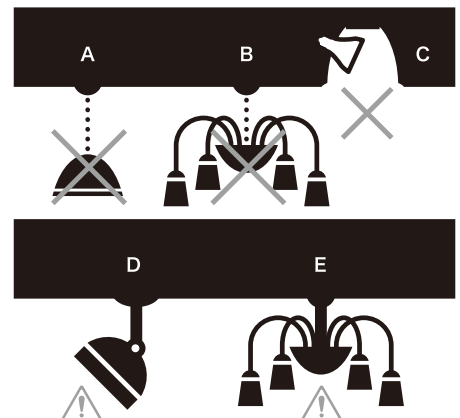
- ビーム球、電球形蛍光灯、スパイラル型電球

使用できない器具の代表例

- チェーン・コード吊りペンダント(右図-A)
- チェーン・コード吊りシャンデリア(右図-B)
- ダウンライト(右図-C) (ランプが斜めに取り付けられたもの)

使用するときに必要な器具の代表例

- スポットライト(右図-D)
(点灯方向を重要視される場合とアームの強度に心配があるもの)
- 直付シャンデリア(右図-E)
(セード及びアームの強度に心配があるもの)



使用方法

1. ご使用前に



不意の落下物等で目を怪我する恐れがあります。ランプ交換の作業中はヘルメット、保護メガネ、手袋を着用してください。



この製品は、別売の「ランプチェンジャー・ポール」
・DLC-AP33 (3.3mタイプ)又は
・DLC-180 (1.8mタイプ)
と組み合わせて使用してください。

2. 使用前の準備 / 組立方法 (図1 参照)

1. アルミポールに受皿を取付ける。
 - ・受皿をアルミポールに差し込みます。
 - ・受皿とポールに隙間が出来ないように市販のテープで固定します。
2. 先端ゴムの取付け
 - ・先端ゴムをアルミポールの先端につけます。



- 受皿の位置はランプやセード等に干渉しない範囲で、できるだけ高い位置に取付けてください。
- 受皿はしっかりと固定してください。
ランプの破片や割れ電球が受皿から落下する恐れがあります。

3. 破損した電球を取り外す (図2・図3 参照)

1. ポールを先端から伸ばす。
2. 先端ゴムをランプに差し込む
 - ・ランプに対してポールをまっすぐに差し込んで、ランプの根元に先端ゴムが密接するように押し当てます。



電球によってはマウント(電球中央部にある棒状のもの)が長く、先端ゴムがランプの根元に密接しないことがあります。このような場合はマウントを先端ゴムで割ってください。

3. ランプをはずす

- ・ランプの根元を押しながら、取り外す方向へポールを回転させます。
- ・ランプがソケットから外れたらポールを縮め、先端ゴムからランプを取り外します。



- ランプの破片や割れた電球が落下することを想定して作業してください。ガラスがひび割れていたり、電球の重さが偏っている為にバランスを崩して落下する恐れがあります。
- 作業周囲を養生シートなどで養生し、作業者は防護メガネやヘルメット、マスク、手袋、長袖の作業服で防護して作業してください。落下した電球や破片などでケガをする恐れがあります。
- ランプの回転軸とポールを同一軸上にご確認ください。軸が合わないと器具の変形、破損、ランプの落下の原因になります。
- ソケットが回転したら直ちに作業を中止してください。電線管ショートがあります。
- ソケットからランプを外す時は完全に外れているか確認しながらゆっくりと行ってください。ランプがソケットから完全に外れていないと、ランプが先端ゴムから外れて落下する恐れがあります。

